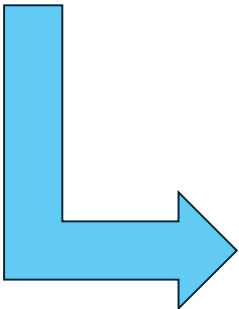


○パターン選択の例

事業所A～Fを運営する法人Xの例です。  
なお、ここでの「件」とは、事業所における利用者ごとの請求件数を指します。

		請求状況				計画書提出時期 該当パターン	補助額算定対象 (選択する基準月)
		R7.12月	R8. 1 月	R8. 2 月	R8. 3 月以降		
法人X	事業所 A	R7.12サービス提供 (100件)	全件 (100件) 請求 (100件審査済み)			Aパターン	12月分全件 (100件)
	事業所 B	R7.12サービス提供 (100件)	98件請求 (98件審査済み)	R8.2に2件月遅れ請求 (100件審査済み)		Bパターン	12月分全件 (100件)
	事業所 C	R7.12サービス提供 (100件)	全件 (100件) 請求 ただし、一部 (10件) に誤りあり (100件審査済み)	一部 (10件) 取下げ、再請求 (10件再審査)		Bパターン	12月分全件 (100件)
	事業所 D	R7.12サービス提供 (100件)	不備等により全件請求できなかった (0 件)	月遅れで全件 (100件) 請求 (100件審査済み)		Bパターン	12月分全件 (100件)
	事業所 E			R8.2に新規開設	全件 (50件) 請求 (50件審査済み)	Bパターン	2月分全件 (50件)
	事業所 F	R7.12サービス提供 (5件) ※感染症の蔓延で著しく提供数が少ない	R8.1サービス提供 (50件)	R8.1分全件 (50件) 請求 (50件審査済み)		Bパターン	1月分全件 (50件)



上記をまとめると、法人Xは以下の組み合わせで計画書提出を提出します。

計 画 書	
法人X	愛知県知事殿
事業所 A (基準月：12月)	

Aパターンの計画書受付時に提出

計 画 書	
法人X	愛知県知事殿
事業所 B (基準月：12月) 事業所 C (基準月：12月) 事業所 D (基準月：12月) 事業所 E (基準月： 2 月) 事業所 F (基準月： 1 月)	

Bパターンの計画書受付時に提出